

## 子育て家庭への食品配送・見守り活動の成果及び課題について

### 1 実績等

#### (1) 京都こども宅食プロジェクト（運営主体：社会福祉法人あだち福祉会）

##### ① 登録世帯（令和2年11月現在）

ア 伏見区3小学校区	139世帯
イ 中京区11小学校区（全小学校区）	183世帯

##### ② 配送

ア 2月～11月に、計7回の配送を実施〔内訳は“ウ”のとおり〕  
イ 米、レトルト商品、菓子類等の食品や、トイレットペーパー等の日用品、マスク等の衛生用品を配送。配送時には、子育てに関する本市の支援施策や地域の取組等を掲載したリーフレットを同封。

##### ウ 配送日等

・伏見区	第1回配送	2月22日から、93世帯へ発送
	第2回配送	3月20日から、124世帯へ発送
	第3回配送	5月25日から、133世帯へ配送
	第4回配送	6月15日から、135世帯へ配送
	第5回配送	8月17日から、135世帯へ配送
	第6回配送	11月16日から、139世帯へ配送
・中京区	第1回配送	10月19日から、183世帯へ配送

##### ③ 相談への対応

運営主体へ相談が寄せられた際には、内容に応じて各相談窓口の紹介等を行っているが、相談内容や相談者の意思等を勘案し、これまでに行政機関等（各区役所子どもはぐくみ室や児童相談所等）へつないだケースはない。

#### (2) 京都市社会福祉協議会及びライオンズクラブ国際協会 335-C 地区による取組

左京区2小学校区（対象世帯数は今後決定）において、12月中に第1回配送予定

### 2 事業効果

- ・ 実際に利用した方の満足度は高い。
- ・ 経済的な支援だけでなく、精神的な負担軽減にもつながっており、行政だけでは手が届きにくい支援ツールの一つとして、有効性がある。
- ・ 対象世帯の中には、行政の発信する情報が届いていない世帯も多い。運営主体のLINEアプリ等を活用することで、ダイレクトに子育て支援に関する様々な情報を対象世帯へ届けられる。
- ・ 民間団体の主体的な活動を軸に、地域において子どもや子育て家庭を見守る環境を醸成していくことができる。

### 3 課題等

- ・ 登録世帯の「課題」や「困り」に気づき、行政機関等へつなげるためには、様々な地域での継続的な取組と、運営主体と対象世帯の関係づくりが必要である。